



名称	彫金 銀花瓶
よみがな	ちょうきん ぎんかびん
指定	市指定
種別	重要文化財
種類	工芸品
所在地	城町一丁目 2-1 (三原市教育委員会)
所有者	三原市
員数	1 口
指定年月日	平成 20 年(2008)5 月 19 日
作者	清水南山
材質	銀製 鍍金
法量	高さ 25. 0cm 口径 12. 0cm 最大径 17. 0 cm
時代	昭和 13 年(1938)
公開状況	事前に連絡必要 (0848-64-2137)
交通案内	JR三原駅から南へ約 1km

【解説】

銀花瓶は「<sup>かみかせごう</sup>神風号」が薄肉彫りであらわされ、機体と雲海の上空の部分に<sup>めっき</sup>鍍金が施されている。機首と機体の一部は、酸を使った煮込み着色法で黒色に仕上げられている。雲の表現は写実的で、さまざまな太さの<sup>たがね</sup>鑿を駆使して槌目を打ち出し、立体感を出している。

南山は龍・獅子・波など伝統的な文様を得意として多く手がけたが、銀花瓶ではこれまで一度も扱ったことのない飛行機という現代的なものをモチーフとしており、南山の作品の中でも極めて異色の作品といえる。